

令和7年1月号

鹿浜こども園だより



足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 守屋 久美子

あけましておめでとうございます。皆様お揃いで良
いお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年末にはご家庭でも子どもたちが作った鏡餅も飾
られたことと思います。餅つきでの鏡餅作り、私の作
った鏡餅は大きなヒビが入ってしまいました。子ども
たちから「れんしゅうしたのになんでしっばいした
の?」「ほんもののおもちでれんしゅうすればよかった
のに」とたくさんアドバイスをもらいました。地域
の方の鏡餅づくりの技の素晴らしさを感じると共に、
日本の文化を継承することの難しさを改めて痛感しま
した。不格好になってしまった鏡餅を前に、私が悲し
い顔をしていると「えんちょうせんせい、つぎがんば
って」「もっとれんしゅうすればできるよ」と子ども
たちから励ましの言葉ももらいました。残念ながら鏡餅
作りは何度も挑戦とはいきませんが、子どもたちには
何度でも挑戦や試行錯誤できる環境を作り、達成感を
味わい次の意欲に繋がるようにしていきたいと考えて
います。

今年の干支である蛇は、古代から再生や永遠の象徴
とされ皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿が象徴
となっています。こうした意味から、巳年は新しい挑
戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈され
ているそうです。これからも子どもたちが失敗を恐れ
ず様々なことに挑戦することを願っています。

園長 守屋 久美子

教材費（4・5歳児）納入について

1月分：1月15日（水） 1000円
2・3月分：2月 4日（火） 2000円

※集金袋は集金日より前にお渡しします。記載さ
れている金額を封入の上、園にお持ちください。

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ
やさしいところ
かんがえるちから
心豊かで たくましい
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱい子ども」
を育てる

【行事予定】

1月	
7日（火）	冬季休業日終（短）
8日（水）	始業式④⑤ 獅子舞の日④⑤
9日（木）	安全指導
10日（金）	鏡開き④⑤
14日（火）	避難訓練
16日（木）	（短）新入園児健診
17日（金）	身体測定
21日（火）	学校探検⑤9:30～
23日（木）	保護者会（進級説明）③15:30～
28日（火）	手洗い指導④⑤11:00～
29日（水）	保護者会②16:00～

2月	
3日（月）	節分
4日（火）	保護者会①16:00～ 安全指導
6日（木）	劇場ごっこ④
13日（木）	（長）新入園児健診
18日（火）	お別れ遠足⑤
19日（水）	保護者会⑥15:30～
20日（木）	身体測定

《1月の行事 連絡事項》

《三学期始業式 4・5歳児》 8日（水）

冬季休業が終わり、長時間保育児と短時間保育児が
そろって始業式を行います。始業式後には、日本の伝
統芸能のひとつである『獅子舞』を見て正月の雰囲気
を楽しみます。

《保護者会（進級説明）3歳児》

23日（木）15:30～

一年間の子どもの成長や進級に向けた話をします。
第二園舎から第一園舎へと大きく環境が変わること
や、新年度に必要な用品についての説明があります。
ぜひご参加をお願いします。

《保護者給食体験》 随時

各園舎1日4食まで、1食250円です。一週間前
までにお申し込みください。

※行事などで提供できない日もありますので担任にご
相談ください。

知ると分かる、すると変わる。



〈ひよこ組〉

園庭でお兄さんお姉さんがしっぽとりゲームをしていると、同じようにズボンにしっぽをつけて「まてまて～」と保育者に追いかけることを面白がっています。歩行も安定してきて、走って逃げるのが楽しくなっているようです。保育者に見守られながらジャングルジムや、ネット太鼓橋によじ登ってみたり、鉄棒にぶら下がったりして、様々な動きを楽しみながら遊んでいます。



ねらい

- ・保育者と一緒に、簡単な身の回りのことをしようとする。

〈りす組〉

手作り太鼓とマラカスを手にして、友達と一緒に音を鳴らし「音がでた～」と嬉しそうです。音が鳴ることがわかると、曲や歌に合わせて「おおきなたいこ、どーんどーん、ちいさなたいことんとんとん」と自分たちで歌いながら友達や保育者と一緒に楽しんでいます。友達とリズム



に合わせて体を動かす中で、楽しさを味わい、自分の思いや体の動きと音楽やリズムのつながりを楽しめるようにしていきます。

ねらい

- ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しみながら、ごっこ遊びや見立て遊びを楽しんでいきます。

〈うさぎ組〉

絵本「きょうりゅうようちえん」をきっかけに化石（石）探しに夢中になっています。はじめは手で取ろうとしていた子も、絵本にある道具を見て「ハンマーがほしい!」「ないからつくってみよっか!」と紙やテープを使って道具を作りました。紙なので折れてしまうこともありますが、自分で作った道具なので嬉しそうに採掘を楽しんでいます。



ねらい

- ・友達と言葉で気持ちを伝え合い、思いを受け止めてもらいながら一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。
- ・身の回りのことを自分でできる喜びを感じ、意欲的にできるようにしていきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

様々な素材や道具、遊具を使って、楽しい遊びを作り出す名人になっている子どもたち。その中で、友達と一緒にイメージを共有したり、友達とアイデアを出し合い、「もっと楽しくするためには」と考えるようになったりしています。

お鍋や泡だて器を使って遊んでいると「音楽かけたいよね～」と。「棒もあると、いいよね」と調理器具を使った演奏会がスタート。マエストロの指揮を見ながらの演奏は息ぴったりでした。



「よいしょ!!」ともちつきごっこを楽しんでいると、釜戸で火を焚き始める仲間が。「こんなのもあったよね」「うんうん! いいね～」と火おこしのためにストローで息を送り込み、力を合わせていました。

ねらい

- ・自分のイメージを言葉や動きで表現し、友達と一緒にやりとりする楽しさや一緒に作りこむ面白さを味わえるようにしていきます。
- ・霜柱や氷などの自然に触れたり息の白さに気付いたりして、冬の季節ならではの経験ができるようにしていきます。

〈ぞう・きりん組〉

劇ごっこの『スイミー』は、当日までに試行錯誤を繰り返しながら、子どもたちがイメージした作品が出来上がりました。舞台の上で緊張している子がいると「だいじょうぶだよ!」と、励ましていました。友達にやってみようとする姿を優しく受け止めてもらうことで、緊張もほぐれていき、一歩踏み出し踊っていました。また、実際に衣装を着て踊ってみた時に「動きにくい」と感じると、袖の幅を広げたり、装飾の位置を変えたりして自分で衣装の調節も行っていました。共通の目的に向かった活動を友達と楽しく行い、やり遂げた満足感を味わうことで、一人一人の自信につながっています。

友達と一緒に楽しい雰囲気の中で、自分が決めた役のセリフや踊り、楽器を披露しています。



ねらい

- ・生活に見通しをもち、自分達でできることにすすんで取り組めるようにしていきます。
- ・目的に向かって、工夫をしたり友達同士教え合ったりしながら、満足感や達成感を味わえるようにしていきます。